

日高地区概況

令和5年1月1日現在  
 世帯数 9,403  
 人口 21,762  
 男 10,610  
 女 11,152

※この概要は日高支所管内の統計による



第210号

発行日 令和5年1月20日  
 発行 日高学区市民自治会  
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>  
 代表者 志賀 勝 弘  
 編集責任者 木田 源 一  
 印刷 おぎつ印刷

困難を乗り越え まちづくりの新たな門出に

新春初顔合わせ ふれあい鳥追い祭りを開催

日高学区では、「新春初顔合わせ会」が、1月7日、日高交流センターを会場に、3年ぶりに開催されました。この催しは、例年、日高学区のまちづくりに関わる機関、団体、事業所などに声をかけて実施されてきましたが、ここ2年は、コロナ禍を考慮して、開催が自粛されてきました。今年の開催については、一部に自粛の声もありましたが、このまま多くの事業の自粛が続けば、地域のつながりや絆づくりが、弱まってしまふとの危機感と、やっぱり集まって、顔を合わせ、声を掛け合うことも大事との多くの声を受けて、やや縮小した形で実施に踏み切ることになったものです。

新春初顔合わせ会の参加者は、松や凧、生け花などでおめでたく飾り付けられた会場に、琴と尺八の雅な演奏によって迎えられました。顔合わせ会は、志賀勝弘市民自治会会長の「この新



令和5年門出の力強い決意の挨拶をする志賀会長

春初顔合わせ会を、新しい年の日高学区まちづくり活動の起爆剤となるように願って開催しました。今日14日に実施されるふれあい鳥追い祭りも、住民の要望を受けて、従来通りの内容で実施していきたい。ご理解と参加をお願いしたい。今後市民自治会は、時代に合った新しい感覚とつながりを大切に、より強固な絆づくりを目指して、進んでいきたい」との力強いあいさつで始まりました。

来賓の梶山隆範副市長、添田絹代地元市議、途中で

地域のひとたちと本部役員の交流を図り 晩秋の里山と史跡を巡る

日高学区市民自治会では、地域の方々との参加と本部幹事の交流も兼ねた「日高里山ハイキング」を11月27日実施しました。



初の試み、主催者側が昼食を用意

駆け付けた石川昭政衆議院議員3人の日高地区に対する思いのこもった挨拶があった後、参加者の懇談に入りました。3年ぶりということ、参加の顔ぶれも変わり、それぞれ挨拶や会話が弾んだところでしたが、時間短縮のため早々に次のお楽しみ初笑い抽選会に移りました。例年より少ない5人に幸運が当たりましたが、おんもさ大賞には、高齢者クラブから出席の君島信好さんが当選し「これは新年早々嬉しいです」と喜んでいました。「令和5年の良い出発がされ、次の鳥追い祭りも、うまくいくとよいね」との役員の声がかれました。

市民自治会では、コロナ禍により行事が制約され、人が集う機会が少なく交流がないなどから屋外で楽しみながら交流できる「日高里山ハイキング」を企画、一般参加者と本部幹事55名が参加しました。コースは日高交流センターを起点に、澳津説神社、首なし地蔵を経て西町の地蔵から不動の滝と日高の史跡を歩き、小木津山自然公園で市民自治会有志の作ったカレーで昼食、秋晴れの中全員でクイズなどのレク

行事予定

(1月21日)〜(3月20日)

○日高学区市民自治会  
 再生資源拠点回収  
 1月22日(日)  
 2月26日(日)

○時間 8時半〜11時まで  
 日高交流センター  
 手作りみそ教室  
 1月26日(木)

○日高交流センター  
 「東連津川をきれいにする会」の清掃実施  
 2月12日(日)

○東連津川流域全般  
 日高文化協会  
 文化講演会 対象会員  
 2月25日(土)

○日高交流センター  
 日高交流センター

役員会報告

12月23日の本・支部役員会で次の事項について協議しました。

- \* 新春顔合わせ会
- \* ふれあい鳥追い祭り
- \* 手作りみそ教室
- \* 交流センター門松作り
- \* 交流センター掃除

# 受賞おめでとうございます

日高学区内で令和4年度に叙勲を受けた方や、国や県から著しく功績があり表彰を受けた方々を紹介いたします。(敬称略)

## 勝間田菊江(小木津町)

(瑞宝単光章)

令和4年度秋の叙勲で小木津町の勝間田菊江さんが瑞宝単光章を受賞されました。勝間田さんは永年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉の向上に尽力され今回の叙勲を受賞されました。

## 櫻村守(小木津町)

# 飛躍を願う千支の「卯」を折る

12月8日交流センターで講師の朝日正子先生をお迎えして、折り紙教室が開か



今にも飛び跳ねそうなおさが折れました

茨城県表彰(功績者表彰)県勢の発展に著しい功績があり、日立市民生委員・児童委員として職務・奉仕活動に精励されました。

## 宇佐美吉郎(小木津町)

全国連合民生委員・児童委員協議会会長表彰

民生委員・児童委員としてまた永年、民児協の市及び県の役員として社会福祉の向上に著しく功績があり今回の受賞となりました。

## 小野初江(日高町)

茨城県民生委員・児童委員協議会会長表彰

れ17名が参加しました。この教室で千支を折りはじめて13回目になりました。令和5年の千支は「卯」で新春にふさわしく金を散りばめたピンクと白の折り紙が用意されました。

先生のゆっくりと丁寧な説明を聞きながら、遅れないよう折り進めていくと、段々に耳や顔の形になっていき、みなさんの顔がほころんできました。全員が完成した時は、参加者から「今回は難しい折り方もなくスムーズに折れて楽しかった」「初めて参加できてこんなに可愛らしく出来上がり嬉しいです」と笑顔で見せ合っていました。

民生委員・児童委員として永年にわたり地域の社会福祉の向上に貢献されました。

# 年末大掃除実施

## 日高交流センター

12月27日、日高交流センターでは当施設利用の各種グループ、団体の協力により恒例の年末大掃除を実施しました。

今年度の年末大掃除は利用者団体及び日高学区市民自治会・社会福祉委員会の有志や日高支所、日高中学校バスケット部の41団体総勢134名が参加して日高交流センター・体育館の内外、

特に日ごろ活動後に行う清掃作業では行わない、倉庫や手の届かない高所などを精力的に行い、2時間程で終了し大変綺麗になりました。



和室押入れも綺麗になりました

作業終了後、寒い中参加いただいた皆さんへお茶とあったかい饅頭が配られ労働がねぎらわれました。

# 新年を迎える準備万端

## 日高交流センター

12月20日、日高交流センター玄関に大きく立派な手作り門松が飾られました。門松は新年の年神様が家々に舞い降りて来る時の目印として、お正月に家の玄関や門に飾る風習です。

今年も日高学区市民自治会有志により地元の孟宗竹や笹・松などを取り揃えた、高さ約3mの大きな門松が出来上がりました。



大きな門松で新年を迎えました

これは、日高交流センター・体育館が地域住民の皆様への情報発信と住民間の交流場所としての位置づけから大切な年中行事として継続的に行われています。

# 令和5年度支部役員改選準備を

## 届け出は2月末日までに

過去3年間はコロナ禍の中、日高学区市民自治会では、予定していた活動の大部分が実施できず、市民自治会員の皆様には多大なご不便をかけてしまいました。

市民自治会活動は各支部員、支部役員さんの協力が不可欠です。

次年度の市民自治会はコロナ禍の状況を見極め、活動を進めていきますので、支部役員構成、役割などをお知らせします。

## 支部役員構成

支部長1人、副支部長1

人、数町内会で構成される班毎に常任委員が1人、班を構成する各町内会の自治委員数人で構成されます。

## 支部役員役割と任期

支部長は会則で任期が2年と定められていて、支部の意見、要望を取りまとめ、自治会本部と連携し、会議や行事に出席・参加します。

副支部長は支部長を補佐し、数種の会議や行事に出席・参加します。また、自治会費の取りまとめを行います。常任委員は班の代表とし

## 支部役員選出

2年制の支部長の選出は、選考委員会を設置して適任者を選出してください。副支部長・常任委員・自治委員の選出は、各支部とも輪番制が多いようです。

## 新役員届け出時期

新役員の名簿は現支部長が取りまとめ、2月末日までに市民自治会事務局(TEL 4214050)に提出してください。

# 赤い羽根募金

## 大口奉仕者芳名

(敬称略・順不同)

永井直規・茨城県信用組合日高支店・宇佐美吉郎・大高工務店・志賀勝弘・茨城環境企業・齊藤金四郎・玉喜屋支店・石堂徳明・志賀啓行・木田金房・豊田清明・櫻村守・下平優・見城美智子・矢部一良・宇佐美寿郎・海老沢清・大森商店・志賀信夫・石井慶昭・小澤邦子・深澤嘉子・三秀建設工業・エイチシーネットワークス(株)・岩間恵美子・見城智恵子・肥田順子●募金は被災地の支援や県内の福祉団体・施設、日立市の地域福祉活動や高齢者、体の不自由な方々への福祉サービス事業等に有効活用されます。ご協力に感謝申し上げます。

# ふくしのつどい

## 福祉功労者顕彰



受賞おめでとうございます

11月22日日立シビックセンター音楽ホールにおいて、日立市社会福祉協議会主催「ふくしのつどい」が開催されました。日立市の福祉向上に尽力された各地区の方が、日立市社会福祉協議会会長より顕彰されました。日高学区からは、

長年に渡り地域の社会福祉活動に協力援助されたとして、岩間恵美子さん、矢部一良さん、石井慶昭さん、そして株式会社藤設備の合わせて、3名、1団体が受賞されました。

岩間さんは、日高学区市民自治会社会福祉委員会のおげんきクラブのボランティアとして、また2011年発足当時からシルバリーハビリ体操教室の指導士として中心的な役割を果たし、日々、日高学区住民の健康寿命を延ばすために活動されています。

矢部一良さんと石井慶昭さんは長年民生委員児童委員を務められたことに対して受賞されました。

矢部さんは主に横内地区と宿東地区の一部、石井さんは西町地区において、高齢者、障害のある方、ひとり親世帯などの心配事に耳を傾け、相談や援助活動を行なっています。

また、株式会社藤設備は、地域福祉事業推進のために多額の金円の寄附をされた団体として受賞しました。同社から寄付されたご厚意は、日高学区のみならず、日立市内全体の福祉活動に役立てられています。

受賞された皆さまには、日頃から、日高学区の住民誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、ご尽力を頂いており、心より感謝申し上げます。

## 次年度活動計画を確認

### ふれあいサロン情報交換会

12月22日、日高交流センターにて、ふれあいサロン情報交換会を行いました。ふれあいサロンは、日高学区市民自治会社会福祉委員会の事業で、地域の高齢者が気軽に集う場となっております。健康増進や閉じこもり防止などの役割を担っています。学区内7か所の集会所を利用し毎月1回実施しています。学区内では通称おげんきクラブと呼ばれ、65歳以上の方でしたらどなたでも参加できます。

情報交換会には、社会福祉委員会役員、各サロンの代表者、地域福祉推進員、日立市社会福祉協議会職員、地域包括支援センターサン豊浦職員の総数22名が参加しました。ふれあいサロンはボランティアさんのご厚意により成り立っている事業です。

新年度の活動計画にあたり、新情報や注意事項を話し合いました。情報交換の場では、おすすめの活動を紹介された方、他のおげんきクラブの活動内容を確認された方、みんなで活動の

屋外活動、クリスマス会などで、各サロン工夫を凝らした活動をしています。



たくさんの情報が発信されました

ための情報を共有し、有意義な会議となりました。各サロンの代表者は情報を持ち帰り、高齢者が活動に参加して楽しそうな表情を思い浮かべながら、次年度の活動計画を作成していきます。

**電話詐欺に注意!**

高齢者を狙った電話詐欺が後を絶ちません。県内では、実在する企業名を名乗って欲しいと持ち掛け、言葉巧みにお金を振り込ませる詐欺被害が多く発生しており消費生活センターでは注意を呼び掛けています。安易な返答はせず怪しい電話はすぐに切りましょう。不審に思ったり困った場合は、すぐに警察や日立市消費生活センターへ相談してください。知らない人とお金の話をしない、留守番電話を活用することも被害にあわない為の手段です。

日立市消費生活センター  
26-10069

## 花植えに挑戦

### 特別支援学校 職場体験

県立北茨城特別支援学校 中学部3学年の生徒3人が、昨年12月1日、日高交流センターで職業体験を実施しました。この職業体験事業は、5年前に、担当の先生が日高学区出身だった縁で、当所で実施され始め、その後続けられています。

生徒たちは、志賀交流センター1委員長から説明を聞き、プランターへの花苗植え作業や移植後のプランターの配置など、思い思いのやり方で、引率の先生やセンター職員に、見守られながら実習しました。



志賀会長の説明を聞く生徒たち

## 文藝ひたか

日高俳句会



- 産土うぶすなの紅寒桜匂ひ立つ 青木 照美
- 忍耐を母の背にみる寒落暉 勝間田菊江
- 婚の荷の届きて梅のひらきけり 小島シン子
- 角巻きで市に買物母偲ぶ 斎藤金四郎
- 風光る少年の弾く駅ピアノ 鈴木 禮子
- 白鳥のくるり逆立さかち藻を食めり 田山 陽一
- 行く年や認めて生きる老いの道 藤田美津子
- 白菊を九谷に活けて暮敵待つ 古舘 英男
- 夕食は手打ちうどんときのこ汁 横倉 省三

# 地域の相談役 民生委員の一斉改選

## 日高学区は全員再任に

令和4年12月1日、全国一斉に民生委員・児童委員の改選がありました。日高学区では、すべての前任者が再任され、厚生労働大臣より委嘱を受けました。民生委員は、地域の皆さんの生活上の困りごとなどの相談を受け、行政や専門機関へつなぐ仕事を中心に、お年寄りや障がい者、ごどもたちの見守り相談活動など、地域福祉の核になって活動しています。

今年も、次の方々が民生委員・児童委員です。表記は、次の通りです。

- 氏名(電話番号)
- 担当地区
- 佐藤 裕 ☎42-3765  
日高町1丁目1-20番  
〃 5丁目9-12番
- 藤田博美 ☎42-4801  
日高町1丁目21-26番  
〃 28-33番
- 小水津町1丁目1-13番  
小水津町1丁目27番  
小水津町1丁目27番
- 宇佐美吉郎 ☎42-3264  
日高町1丁目27番  
小水津町1丁目27番
- 2丁目1-6番  
木田金房 ☎42-4965  
日高町2丁目1-3番  
小水津町3丁目1-18番
- 小水津町松木下団地周辺  
榎村 守 ☎42-2223  
小水津町3丁目19-31番  
矢部一良 ☎42-3035  
日高町2丁目4-13番  
〃 5丁目1-3番
- 小野紀代美 ☎42-4564  
日高町3丁目12-29番  
〃 24-26番の一部を除く
- 小野初江 ☎42-4307  
日高町3丁目1-11番  
小水津町4丁目1-9番  
小林 修 ☎42-3362  
日高町4丁目4-8番  
〃 5丁目4-8番
- 原田千代子 ☎0906561175  
小水津町1丁目14-26番  
〃 29-42番
- 石井慶昭 ☎43-7411  
小水津町2丁目7-20番  
小水津町旧番地常磐線山側  
高畑仁子 ☎42-2731  
小水津町4丁目10-44番

### あの人 この人

菅谷 恒朗さん  
小水津町  
(87歳)



くいつつも朗らかに

昭和10年、水戸市生まれの菅谷さんは、学校卒業後日立製作所電線工場に入られ、高圧電力ケーブルや海底ケーブルの製造に長年関わってこられました。

その仕事には今でも誇りを持たれていますが、在職中の忘れたい思い出の一つは、当時盛大に行われていた職場対抗の運動会でチームが優勝し、主将として優勝旗を受け取ったことで、

今でもその時の感動を覚えているそうです。

その勤めも30年近く前に退職され、先輩に誘われて日高地区の社会福祉協議会、そして日高地区福祉委員会の委員として平成29年に退任されるまで長年活動されてきました。

現在は、約20年前に創設に関わった日高にここのクラブ、そして日高のママさん卓球クラブでの活動や長



ママさんと一緒にスマッシュ!

つねに朗らかに生きて欲しいというご両親の願いが込められたお名前どおりの朗らかで前向きなお人柄です。(田所 剛)

年の友人とメール通信、そして生活日誌をパソコンに打ち込むなど忙しい日々を過ごされており、毎朝のテレビ体操、コーヒーを飲みながら家庭菜園を見回るのが至福の時間だそうです。

- 豊田賢一 ☎42-22234  
小水津町5丁目全部  
小水津町3丁目24-26番  
〃 の一部及び30番  
小水津町旧番地常磐線海側  
小泉安宏 ☎42-4080  
主任児童委員(学区全域)

### コロナは飛んでけ!

昨年暮の25日、交流センタ12階でわら細工教室が行われ、参加者は30名程度と若干少なめでした。

会場内には小野俊郎さんから提供された菓束がうずたかく積まれ、例年通り自治会の志賀会長と、東本宿支部の根本とよさんの指導で作りました。

菓を上手になれる人も、思い通りに行かず悪戦苦闘する参加者もいて会場は終始なごやかな笑い声に満ちていましたが、1時間もすると皆、それなりの作品を作り上げることができました。自作のしめ縄を玄関先に掲げ、新しい年を迎えた



新しい年も幸せに

### 東連津

本部役員なのに今年もほとんど協力できなくて申し訳なく思っています。たが、なんとか、11月27日の「晩秋の日高里山史跡を巡ろう」には参加することが出来ました。長く住んでいても知らないことが多く、澳津神社の本殿に文化財級の絵が奉納されていることを知り、「西町の地藏さま」は初

### 積極的な参加を目指す

総務部幹事 市原 慎也さん

参拝で、不動滝も20数年ぶりでした。

また、45年程前の日高小学校の遠足では、さらに奥の「石尊山」まで行った覚えがありました。同じく参加していた同級生の黒澤君は昼食時「そんなの覚えてねえ」と言いながらおいしそうに3杯目のカレーを飲んでいました。小中学生の参加もあり、いろいろな世代のみなさんと交流ができて、とてもリフレッシュできた一日でした。

### お詫びと訂正

前209号4面に掲載の「日高中学校新人戦で活躍」の記事で女子剣道個人の部で3位となった生徒さんのお名前を佐藤柚さんと記載しましたが、正しくは佐藤柚さんでした。お詫びして訂正いたします。

### 茨城県小中学校芸術祭で日小・日中生が入賞

令和4年度の茨城県小中学校芸術祭において日高小学校、中学校の生徒が左記の通り入選し、11月に水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館で作品が展示されました。

- 日高小学校  
絵画・デザイン部の部  
4年 金澤 明里  
書写の部  
4年 小野 愛心  
日高中学校  
絵画・デザインの部  
3年 金澤 冬佳  
書写の部  
1年 片根 迪夏

### 編集後記

昨年はほとんど焼きだけだったが、今年は昔遊びや模擬店などいつもの鳥追い祭りが開かれた。コロナ禍で人の集まりが制限されてきた中、久しぶりの祭りで、大人も子供も楽しそうに笑顔があちこちで見られた。これからのいろいろな催しが開かれるが、皆さんに役立つ「ひたか」の情報を本誌で発信していきたい(増子)